



地区青少年奉仕委員会では、地区内での青少年奉仕活動を共有するとともに、各クラブの青少年奉仕活動をさらに充実させるため、「青少年奉仕情報」を発行しております。各クラブの青少年奉仕活動をご紹介するだけでなく、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、職場・就業体験、RYLA、学友の活動についてもご紹介してまいります。ご愛読、そしてクラブ内への情報共有をよろしくお願ひします。

第32号の目次： 青少年奉仕からは「沖縄分区青少年奉仕活動」、ほか

P. 4	インターアクト	在京・地区インターアクト合同活動のご報告
P. 5	ローターアクト	「Piece Action ～ピースの輪～」、ほか
P. 12	青少年交換	青少年交換帰国報告会、ほか
P. 13	RYLA	RYLA受講生決定しました

1. 地区青少年奉仕委員会の活動（ご報告など）

① 沖縄分区・五大奉仕委員長会議 青少年奉仕部門を開催しました

10月16日（木曜日）、午前10時30より、パシフィックホテルにて、沖縄分区・五大奉仕委員長会議 青少年奉仕部門を開催しました。沖縄分区各クラブの青少年奉仕担当のみなさまなど、27名のご出席をいただきました。地区インターアクト、地区ローターアクト、地区青少年交換、地区RYLA、地区職場・就業体験、地区学友の各委員会から、事業方針の発表と事業の報告がありました。また、喜納兼功地区青少年奉仕委員（那覇東ロータリークラブ）から7月に開催された「沖縄分区／青少年交換学生帰国報告会&合同例会」、江夏正浩那覇西ロータリークラブ青少年奉仕委員長から「クラブ青少年奉仕委員会主催の第1回青少年活動報告会」と「鹿児島中央ロータリークラブとの共同事業「鹿児島・沖縄高校生交流会」」についての報告がありました（次ページに記事を掲載しています）。



この後、ランチをしつつ、沖縄分区各クラブの青少年奉仕活動の報告を行っていただきました。沖縄分区も、青少年奉仕を熱心に行われています。

② 沖縄分区青少年奉仕活動／「沖縄分区／青少年交換学生帰国報告会&合同例会」

7月12日、沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハにて、沖縄分区の新たな試みとして、青少年交換学生帰国報告会&合同例会を開催しました。これまでは、青少年交換学生のホストクラブが個別に開催していました帰国報告会を沖縄分区全体で盛り上げようと、コザロータリークラブ、那覇東ロータリークラブ、浦添ロータリークラブ、那覇南ロータリークラブ、那覇北ロータリークラブの合同例会形式で行われました。



石川正一パストガバナー、新本博司ガバナーエレクト、内田祐輔地区青少年交換委員長をはじめとして、150名以上のロータリアンと青少年交換学生の家族、学校関係者が集まり盛大に執り行われました。メキシコから帰国した名嘉さん、ベルギーに帰国するマリーナさんの報告は堂々とされていました。このプログラムが彼女たちに大きな自信を与えたのだと実感しました。そして、本年度、ベルギーへ派遣される佐久本さんと、来年度派遣予定の砂川さんの決意表明には、希望と夢が満ち溢れていました。このプログラムが間違いなく彼女たちの未来に大きな影響をもたらす素晴らしいものであることを確信することができました。この合同例会形式は、来年度もぜひ引き継いで、沖縄分区の大きな目玉にしたいです。

③ 沖縄分区青少年奉仕活動／「那覇西ロータリークラブ 第1回青少年活動報告会」

9月9日、波上宮にて、那覇西ロータリークラブ青少年奉仕委員会主催の第1回青少年活動報告会を開催しました。那覇西ロータリークラブがなんらかの形で支援している那覇商業高インターアクトクラブ、沖縄尚学高校地域研究部のみなさんの活動報告をしていただくとともに、一緒に波上宮と護国寺周辺の清掃活動を行いました。今回開催した目的は、①お互いの活動を



学び今後の活動に活かしていただきたい、②同じ那覇西ロータリーファミリーとして今後一緒に活動して欲しい、③部活を引退後も那覇西ロータリーファミリーである那覇西ローターアクトクラブで活動していただきたい、ということです。

④ 沖縄分区青少年奉仕活動／「那覇西ロータリークラブ 鹿児島・沖縄高校生交流会」

10月26日～28日、那覇西ロータリークラブと鹿児島中央ロータリークラブとの共同事業であります「鹿児島・沖縄高校生交流会」を開催しました。本年度で16回目です。今回は沖縄尚学高校の生徒から行程の提案が有りました。樟南高校の生徒と力を合わせて交流を行いました。併せて、那覇西ローターアクトクラブで活躍していますこの交流会 OGも参加してくれました。

⑤ 在京・地区青少年奉仕全体会議を開催しました

9月20日の午後、新宿にて、「在京・地区青少年奉仕全体会議」を開催しました。在京各クラブの青少年奉仕担当のみなさまなど、81名のご出席をいただきました。地区インターアクト、地区ローターアクト、地区青少年交換、地区RYLA、地区職場・就業体験、地区学友から、各クラブの青少年奉仕のヒントとするための具体的なトピックの報告がありました。共通する点としては、各委員会にて、ロータリアンと青少年との交流の機会



を作っており、ぜひ活用していただきたいということです（たとえば、インターアクト年次大会、ローターアクト年次大会、来日学生帰国前報告会・派遣学生帰国報告会など）。また、東京東久留米ロータリークラブ、東京東大和ロータリークラブ、東京練馬中央ロータリークラブから、それぞれ「地元中学生のための出張マナー講座（ロータリアンによるプチ講演のほか、電話対応のレクチャーなど行う）」、「少年少女合唱団クリスマスコンサート&パーティ（児童養護施設の子どもたちも招待）」、「フィリピンの子どもたちに靴と思いを送るためのシューズバンク（地元小学校が主体となって行う事業のサポート）」について活動紹介がありました。3クラブからは、「未来を担う青少年のみなさんの役に立ちたい」、「青少年の才能を引き出したい」、「他人のために一所懸命になることは自分のためになることに気付いてもらっている」といった思いも伝えていただきました。

北豊島学園インターアクトクラブからの活動レポート

10月14日（日曜日）、北豊島学園での文化祭にて、インターアクターが「気仙沼の水産加工品の販売ボランティア」を行いました。3年連続になります。気仙沼の水産加工品の手配は、気仙沼と東京のローターアクター有志による「気仙沼仕事創出プロジェクト」がサポートしました。水産加工会社「マルトヨ食品」さんの「さんまくん」（さんまの燻製）と「さんま柚子胡椒」、「いわし生姜煮」を販売し、完売しました。販売ボランティアとともに、「オオムラサキ飼育のお手伝い」、「あしなが学生募金のお手伝い」などインターアクトクラブのボランティア活動を模造紙にまとめて、PRも行い、たくさんの来場者にご覧になっていただきました。



2. インターアクトの活動（ご報告とご案内）（鈴木祥太地区インターアクト委員長より）

① 在京・地区インターアクト合同活動のご報告



11月11日、関東第一高等学校の調理実習室において在京インターアクトクラブの地区合同活動が開催されました。当日はインターアクター、25名が参加しました。ローターアクトクラブの現役・卒業メンバーにご協力いただき、ローターアクト有志による「気仙沼仕事創出プロジェクト」のプログラム「気仙沼フードマイスター」講座を開催しました。この講座は、東日本大震災の被災地である気仙沼の水産加工品を利用した、マーケティングの基礎知識の学習と実践です。水産加工品のアレンジレシピ（一手間を加えるもの）の料理と試食、また、水産加工品のプロモーションについてワークショップとプレゼンテーションを行いました。

ワークショップの題材は、マルトヨ食品さんの「さんまくん」（さんまの燻製）とマルヤマさんの「なまり節」、やまちょう小野寺さんの「海ごはん」（こだわりのふりかけ）でした。題材の選定の後、「水産加工品の特徴」、「水産加工品の強み」、「水産加工品の価値を感じてくれる人」、「水産加工品のプロモーションをいかに行うか」について、真剣にアイデア出しを行いました。



プレゼンテーションでは、ティーンエイジャーであるインターアクターの目線から、水産加工品のパッケージや定価について、忌憚のない素直な意見や商品販売に関して参考になるアイデアが沢山ありました。また、お料理については、「さんまくん」と「なまり節」を使った生春巻きと、「海ごはん」を使った炒飯を作りました。「さんまくん」はさんまが丸ごと1本なので、おっかなびっくり包丁を入れるインターアクターもいましたが、てきぱきと作業を進めていました。その後、試食となりました。ロータリアンも試食をいただきましたが、とても美味しい料理が完成していました。

今回、少人数のグループでワークショップと料理実習をしたことで、他校のインターアクター同士が共同作業を通して親睦を深めることができました。また、運営スタッフをローターアクターにお願いしたことで、インターアクターがローターアクトに興味を持ってもらえる機会となったことが成果でした。

3. ローターアクトの活動（ご報告とご案内）（地区ローターアクト広報委員会より）

① 地区 Piece 委員会からのご報告「Piece Action ～ピースの輪～」

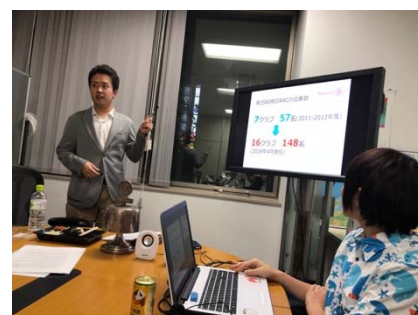


10月27日、台東リバーサイドスポーツセンターにて、地区 Piece 委員会主催の「Piece Action ～ピースの輪～」を開催しました。今回の地区行事は、風船バレーとエコキャップ運動を行いました。基本ルールに加えて、目隠し・片手だけのプレー・その場から一歩も動かずにプレーの3つの国際ロータリー第2580地区特別ルールを設けて、参加者の皆さまにはハンデを負いながらプレーをしていただきました。また、エコキャップ運動では地区内外から沢山のエコキャップをご提供いただき、集まったエコキャップは104,060個（242kg）となりました。これはポリオワクチン121人分に相当し、世界中の子供たちに届けることができます。ご協力いただいたみなさま本当にありがとうございました。

② 東京東ローターアクトクラブ

10月26日(木)「東京東 RAC 新人研修例会 2018」

東京東ローターアクトクラブには、本年度3名の会員が入会しました。そこで、彼らにローターアクトとはどのようなものなのかを知ってもらうことを目的に新人研修例会を開催しました。新入会員のうちインターアクト出身の古屋くん、海老原さんは初例会でしたので会長の河村はいつも以上に緊張しました。例会では、まず会長の河村が新入会員に向けてローターアクトについての簡単な卓話をしました。ローターアクトの活動、服装、今後の例会、地区行事の案内の4つを主軸に前年度地区広報委員だった経験が活かされた卓話でした。その後、自己紹介や歓談の時間を経て、グループワークで12月以降の例会を何にするかそれぞれ意見を出し合いました。例会について意見を出し合った結果、12月度例会では当クラブの新入会員の卓話例会を行うこととなりました。当クラブには、ローターアクトクラブ以外にもボランティアの一貫としてカンボジアに自ら足を運んでいる新入会員がいます。そんな彼女がカンボジアで何を体験したのか、何を感じたのかをお話してもらう予定です。とても興味深い、ためになる内容となりそうです。東京東ローターアクトクラブは当地区で最も盛り上がるクラブになる



ようこれからも頑張ります。

◆おすすめ例会情報：11月第1例会「ローターアクトを知る会Ⅱ」

内容：前年度地区ローターアクト代表の小笠原さんと本年度地区幹事の我妻さんをお呼びしてローターアクトのあれこれを楽しくお話ししていただきます。

開催日：11月26日(月)

場所：日本フォームサービス株式会社(東京都江東区亀戸6-25-1)

受付開始：19:15 開会点鐘：19:30

登録先：幹事 飯塚勇太

③ 東京荒川ローターアクトクラブ

9月29日(土)「チャリティーBBQ例会」

9月29日に「チャリティーBBQ例会」を開催しました。例会では、国際交流をしながら、チャリティーBBQを行いました。当日は、国際ロータリー第2770地区、第2590地区の他に、香港、台湾、カザフスタンなど様々な国籍の人が参加され、文化や言語などの交流を通し、たくさんの友だちができました。また、当日の交流を通して、カザフスタン出身の米山奨学生マルさんが東京荒川ローターアクトクラブの魅力を感じられ、入会してくれました。最後までいっぱい交流して、素晴らしい1日を過ごしました。そして、当日の収益(1万3千円)は全額、北海道胆振地方地震被災地に寄付しました。



④ 東京池袋ローターアクトクラブ

9月24日(月)「第一回 東京池袋ロータリーファミリー交流会」

9月24日(月)、10:30から、東京池袋NEXTロータリー衛星クラブと合同で、ロータリーファミリー交流を兼ねたゴミ拾い例会を行いました。ローターアクトクラブ・ロータリー衛星クラブの親睦を軸に、前日の「ふくろ祭り」にてゴミが増え、汚れた池袋の街を綺麗にしようと、本例会が企画されました。池袋西口公園を始点として、豊島区清掃事務所までの約2キロの道のりを、2チームに分かれて清掃しました。東京池袋NEXTロータリー衛星クラブの笹田議長や多田幹事からは、普段あまり親交がないロータリーファミリーと関わることができたため、今後お互いの例会にも参加しやすくなるというお声をいただきました。今後ロータリーファミリー同士、より密に交流をするための大きなキッカケとなりました。



◆おすすめ例会情報：11月第2例会「伝説の漫画家達、その原点を歩こう例会」

開催日：11月24日(土)

場所：トキワ荘跡地周辺

登録先：幹事 山田遊

⑤ 東京江戸川ローターアクトクラブ

(1) 9月21日(金)「小林くんによる特別講和」

歯医者さんになるという夢のために東京を離れ、1人、群馬県で仕事をしているローターアクターの小林くんが久しぶりに帰ってきて、特別講和をしてくださいました。ご自身の仕事内容や歯の健康について、なぜ歯医者には儲かるのか等、裏話も聞かせていただきました。久しぶりの再会で、終始和気あいあいと楽しいひと時でした。

(2) 10月12日(金)「ちゃんこを食べようの会」

本例会はただちゃんこを食べただけではなく、各自で両国の歴史や相撲力士の歴史等を徹底的に調べ上げ、発表し合うことで、よりちゃんこが美味しく食べられるのではないかとこのことで開催されました。ちゃんことは「力士が作る食べ物は全てちゃんこである」というメンバーの発表にはとても驚きました。終始かなり盛り上がり何故か最後の方はイントロクイズになっていました。



(3) 10月26日(金)「新会員、佐藤ゆきさん自己紹介」

久しぶりに東京江戸川ローターアクトクラブに新会員が増えました。身長も高くまさにモデルのような佐藤さんに一同は目を奪われていました。初めてお会いしたにも関わらずメンバーとはすぐに打ち解けました。また一段と楽しくなりそうです。

⑥ 東京ローターアクトクラブ

9月22日(土)「9月度例会 日本橋・老舗・そして海苔」

本年度、東京ロータリークラブ会長の山本泰人様(山本海苔店株式会社代表取締役副社長)より、卓話を頂戴しました。山本海苔店様は長い歴史の中で幾度か製造工場を移転されました。それは、時代の状況に合った海苔の生産を行うための「変化」だとお話しの中で感じました。半面、海苔の販売が苦しい時代にあえて社名に「海苔」の文字を入れ、「一生、海苔を扱っていく」、その覚悟を表した社名に「不変」の大切さも感じることができました。日本には永年企業が多くあります。社会の流れにうまく「変化」していきながらも、大切な芯を「不変」に守っていく。この両面が大切であることを学ばせていただきました。



◆おすすめ例会情報：11月例会

内容：今月の例会は東京ロータリークラブ八木昌実様のご卓話をいただきます。八木様

は公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの理事長を務められており、難病に苦しむ子供達の支援をされております。例会ではそういった子供達のお話や支援活動についてのお話を頂戴します。

開催日：11月17日(土)

場所：公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン 東京本部
(東京都千代田区一番町9番地8 ノザワビルディング 8F)

受付時間：11:30 開会点鐘 12:00

登録先：幹事 小柳宜久

⑦ 東京東江戸川ローターアクトクラブ

10月13日(土)「英会話例会」

当クラブ恒例の1つである英会話例会を本年度も、クリスティン会員、ルクサンドラ会員を主体として開催しました。当クラブは中国、ルーマニア、フィリピン出身の会員がおります。非常に国際色豊かなクラブとなっており、本例会も当クラブならではの企画ではないかと思っております。本年度は前年度の英語でのゲーム、会話レッスンではなく、「National Stereotypes(日本人、アメリカ人、イギリス人とは？等、人種の固定概念について)」をテーマに会員、ビジター同士でディスカッションする例会となりました。当日はクリスティン前会長の人徳もあり、大変多くの方にご参加いただくことができ、わきあいあいとした雰囲気となりました。本例会は当地区の良さである会員一人ひとりの個性を活かし、普段考えることのなかったテーマや価値観について触れることができる機会と考えております。



◆おすすめ例会情報：12月第1例会「クラブしらさぎ」

開催日：12月2日(日)

場所：都立白鷺特別支援学校

受付開始：9:00 予定となります

登録先：幹事 齋藤佑衣

⑧ 嘉悦大学ローターアクトクラブ

(1) 9月27日(木)「出世競争例会」

本年度入ってきた1年生が初めて企画した例会です。「出世競争例会」はハサミ、定規、コンパスの中から2つだけチームで選び、既定の大きさのお金を紙から作るというゲームです。取引などの駆け引きが重要なゲームで、最後に最も多くのお金を手に入れたチームの勝ちです。ビジターとしてご参加いただいた地区ローターアクト委員長の齊藤さんと楽しんでやることができました。授業終わりの教室で例会を開くことが多い嘉悦大学ローターアクトクラブは、このように教室で出来ることを例会担当者が考えることが多



いです。

(2) 10月21日(日)「小平市民祭」

本年度も「小平市民祭」に参加させていただきました。出店内容はオリンピックの宣伝、そのための翻訳アプリ「ボイストラ」の実演宣伝、さらに嘉悦大学ローターアクトクラブの会員とサッカーボードゲームで対決です。勝利すると景品がもらえる！という内容でお子さんたちと真剣勝負をしました。



◆おすすめ例会情報：11月第2例会「KIFA国際交流フェスタ」

開催日：11月25日(日)

場所：学園西町地域センター

受付開始：11:00

登録先：幹事 吉海幹生

⑨ 東京ワセダローターアクトクラブ

10月27(土)「Storytelling 例会」

東京ワセダローターアクトクラブの例会では、よく1分間スピーチを行っています。1分間スピーチとは、会員一人一人が1分間以内に最近の出来事などについてみんなの前でお話することです。今回のストーリーテリング例会は1分間スピーチをさらにレベルアップできないかというアイデアから生まれたものです。ストーリーテリングのコツを勉強し、グループでハロウィンに関するストーリーを作成して発表しました。ハロウィンという同じテーマだったのに、それぞれのグループのストーリーはユニークで面白かったです。これからも人前でお話する技術を磨く機会を設けたら良いと思います。



◆おすすめ例会情報：12月第1例会「国際料理例会」

開催日：2018年12月9日(日)13:30~17:00

場所：南大塚地域文化創造館(東京都豊島区南大塚2-36-1 第一会議室)

受付開始：13:00 開会点鐘：13:30

登録先：幹事 中村瑛美

⑩ 東京板橋セントラルローターアクトクラブ

(1) 9月29日(土)「タイ料理例会」

9月例会として、東京池袋ローターアクトクラブと合同でタイ料理例会を行いました。タイに留学していた八谷会長とタイからの留学生お二人の指導のもと、トムヤムクンとガパオ



ライスを作りました。他クラブの方たちと交流を深めつつ、異文化についても理解を深める良い機会となりました。

(2) 10月25日(木)「ローターアクターの卓話」

10月例会としてローターアクターの卓話を行いました。小田島幹事より、「公務員の基礎知識」をテーマに卓話があり、給与の決まり方や人事評価などについて知見を広げることができました。

⑪ 東京浅草中央ローターアクトクラブ

10月20(土)、21日(日)「第3回フラフェス in 浅草 ～フラの聖地「いわき」高校生フラガール達の軌跡～」

10月第2例会は、提唱クラブである東京浅草中央ロータークラブ主催の「第3回フラフェス in 浅草」に参加させていただきました。2日間を通し天候にも恵まれ、秋晴れの空の下、多くの方にフラダンスのご観覧に来ていただくことができました。私たちローターアクターは、主にチラシ配りや、ご観覧する方々の誘導をしました。地元の方だけでなく、国内外からの



観光客の方が多くいらしゃったことが印象的でした。東日本大震災から7年半が経った現在、東日本大震災の風化が深刻になっています。東京の中でも特に多様な人が集まる浅草の地で、被災地の高校生たちのフラダンスを発信すること、また、フラダンスを通して東日本大震災を思い出していただける場を設けることは、とても意義のある活動だと思います。たまたま福島からいらしていた親子の方々が、公演を観て涙を浮かべていた姿はいまでも忘れられません。被災地の方々の想いを繋げる活動の一助を担えたことが、とても嬉しく、誇らしく思います。これからも浅草だからできる震災の復興を続けていきたいです。

⑫ 東京池袋西ローターアクトクラブ

10月31日(水)「作業療法士について学んだこと」

創立から2年余りのまだ新しい当クラブの例会では現在、会員による卓話を行うことにより会員同士の理解を深めることを目標の一つにしています。今回は山下会員が目指している作業療法士という職業について、学生の立場からではありますが、対人援助職に関する心構えをテーマに卓話を行いました。作業療法士はケガや病気により、日常生活を送る上で様々な方が抱える問題に目を向け、その原因を分析し、より良い生活を送ることが出来るような適切な支援や生活の提案をします。ケガや病気によって今まで出来ていたことが出来なくなるということは、物理的な問題だけではなく、精神面にも大きな影響を及ぼ



が出来なくなるということは、物理的な問題だけではなく、精神面にも大きな影響を及ぼします。例会中には日常生活の何気ない場面である、お茶をペットボトルからコップに注

いで飲む、お菓子の袋を開けて食べるという動作を、片手・片足だけを使って、参加者のみなさまにやっていただきました。具体的にどんな時に困るのかということを考えてもらいながら、感想を共有しました。実際に体験することで、改めて普通に生活するということが当たり前ではないと感じると共に、困っている方々にどのように寄り添っていくことができるのか考えていくきっかけとなりました。

◆おすすめ例会情報:11月第2例会「ワイン例会」

開催日:11月27日(火)

場所:イケビズとしま産業振興プラザ 料理実習室

受付開始:18:50 開会点鐘:19:10

登録先:幹事 神田亜衣子

⑬ 東京上野ローターアクトクラブ

(1) 10月1日(土)「小泉牧場と地域について」

23区唯一の牧場である小泉牧場を特別に見学させていただきました。会長の舩造のご近所様であり、尊敬する方である小泉勝様に酪農教育ファームとしての取り組み、そして地域との関わりについて熱く語っていただきました。



(2) 10月17日(水)「赤十字の取り組みについて」

卓話講師として、東京都赤十字血液センター第二出張所事業課長の鈴木賢太郎様をお招きし、ローターアクト世代に向け献血事業の現状と新たな取り組みについてお話しをしていただきました。

(3) 11月3日(土)「ひよこ教室について」

卓話講師として特定非営利活動法人サポートステーション輪(りん)理事長の相川洋子様をお招きし、文京区内で40年続く未就学児保育活動「ひよこ教室」についてお話しをしていただきました。



ローターアクトクラブ例会へのお誘い

各ローターアクトクラブから「おすすめ例会」として、ローターアクトクラブ例会などのご案内がございます。この例会については、未提唱クラブのロータリアンのご出席を歓迎しているものです。ぜひ、ご興味ございましたら、ローターアクト活動に直に触れていただければと存じます。青少年奉仕はまず青少年に会うことからです。お問合せやお申込みは「登録先」のメールアドレスになります。

ローターアクトクラブ例会への出席は、ロータリアンにとってもメーキャップになります。

4. 青少年交換の活動（ご報告）

① 国際ロータリー第2580地区2018-2019年度青少年交換帰国報告会

9月23日、地区青少年交換委員会主催の2018-2019年度帰国報告会が学士会館で開催されました。帰国報告会とは2017-2018年度に派遣された学生たちの派遣先での出来事を10分間スピーチしてもらうことを主眼とする会です。青少年交換プログラムは在京9名、沖縄分区1名、計10名を派遣し相手地区から10名受け入れています。この度報告し



てもらった学生は第53期派遣学生で、派遣先はアメリカ2地区、ベルギー、スペイン、チェコ、フランス、ドイツ、ブラジル、メキシコ、タイです。内田祐輔地区青少年交換委員長の挨拶で開会され、報告者がそれぞれの派遣先での学校生活、ホストファミリー、ロータリーの活動などを10分にまとめて報告しました。16歳か17歳の学生が派遣前はどこにあるかもわからないような国で小さな親善大使の使命感を持って異国先で約1年間の生活を送るのです。ホームシックはもちろんのこと英語以外の言葉の習得の苦勞、なかにはホストファミリーとの確執など普通の10代では味わえない体験を通して1年間の成長した姿を見せてくれます。これは青少年奉仕とくに青少年交換に携わった関係者一同が喜び、安堵する瞬間です。第1部の報告会は松坂順一ガバナーに講評をいただき、それぞれの学生にガバナーより記念楯が授与され第1部は閉会となりました。

第2部の合同歓迎会では上山昭治地区青少年交換委員会カウンセラーの乾杯のご発声で開会となりました。会のなかで本年度の10名の来日学生に日本語でのスピーチをしてもらいました。まだ来日して2ヵ月を経過していないのでたどたどしいのですが、来年6月に開催される予定の帰国前報告会では見違えるほど上達します。また、2019-2020年度に派遣を予定している第55期派遣予定学生に英語でスピーチしてもらいました。これから来日学生は帰国まで、派遣予定学生は派遣まで青少年交換プログラムの行事を通して交流し親睦と友情を深めます。これからROTEXとして3年間活動する第53期派遣学生のダンスの披露などで大いに盛り上がり松岡浩地区青少年奉仕委員長の中締め、そして派遣学生、派遣予定学生、来日学生、ROTEX、そしてロータリアン全員で「手に手つないで」を唱和して閉会となりました。

② 今後の予定

青少年交換第55期派遣予定学生派遣国伝達式&クリスマスパーティ

日時： 2018年12月23日（日）、17:30～

場所： 学士会館

お申込み： 各ロータリークラブにご案内を申し上げます。

多数のご参加をお待ちしています。

4. RYLAの活動（ご報告）（嶋村文男地区RYLA委員長より）

① RYLA受講生決定しました

本年度、松坂順一ガバナーの方針で、国際ロータリーが推奨する青年奉仕活動の一つである RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）のセミナーを、来年 3 月 1 日～3 日の予定で沖縄県南城市にある「玉城青少年の家」で開催することになりました。

RYLA 委員会では当地区で初めての RYLA を各クラブのみなさまに理解していただき、受講生の推薦をお願いするため、5 月 7 日の東京練馬西ロータリークラブを皮切りに 40 クラブ以上で「スタートアップ RYLA」と題した卓話を行って来ました。その効果もあり、お陰様で 27 名の受講生の推薦をいただき、10 月 29 日の第 8 回 RYLA 委員会で 27 名の受講生を決定しました。その内訳は男性 16 名、女性 11 名（在京 21 名、沖縄 6 名）です。当初の目標の 24 名を上回ることが出来ました。

今後は来年 3 月の RYLA セミナー実施に向けて、本年度の RYLA テーマ「心にふれ合う」のもと内容の充実を図り、委員会一丸となって第 2580 地区としての「初 RYLA 完結」を目標に努力していこうと思っています。今後は、各クラブにも RYLA 見学参加のご案内と協力金のお願いをさせていただきますので、何卒ご理解、ご協力の程をよろしく願います。

「青少年奉仕情報」第 32 号発行にあたって

各被包括委員会、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブの活動も軌道に乗るこの時期、躍動する青少年の姿を今号から感じていただければ幸いです。本年度から当地区に新設されました地区 RYLA 委員会では、地区 RYLA 委員が手分けして各クラブを訪問させていただいております。まだ RYLA 委員会の卓話を聴いていないクラブのみなさまにおかれては、ぜひこの機会に RYLA へのご理解とご関心を深めていただきたく、卓話のお申込みをお願いします。また、同じく新設の地区学友委員会では、先発の他地区の学友委員会の活動内容を研究するなど一步一步着実にその歩を進めているところです。地区青少年奉仕の活動と各クラブの活動の日々の積み重なりが、地区の青少年奉仕全体の活性化をもたらすという期待と確信を持って、今後とも青少年を育て、その成長を手助けしたいと考えております。引き続きましてのご理解とご協力をお願いします。

地区青少年奉仕委員長 松岡浩（東京本郷ロータリークラブ）

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

クラブから、青少年奉仕活動の開催情報・ご報告（写真のデータとキャプションだけでもかまいません。随時募集中です）、また、本誌へのご意見・ご質問などをお待ちしております。

お問い合わせ／掲載希望などの連絡先

地区青少年奉仕委員会（担当；茂木）まで mitsu-motegi@msc.biglobe.ne.jp